

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	過去72万年間の気候変動情報を含むアイスコアの物理と層位および「最古の氷」の研究
研究代表者	藤田 秀二 (国立極地研究所・研究教育系・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、日本が掘削した3000m以上におよぶ氷床コアについて、過去の分析結果も踏まえ、約20-72万年前にターゲットを絞って問題点を克服し、当該コアを高時間分解能で分析する意欲的な研究である。本研究には、圧縮変形履歴の復元や鍵層としての火山灰層を用いた同時期面の認定、国際共同研究というフレームワークを用いた面的な記録の対比、急激な気候・環境変動の深い理解、数十万年間にわたる環境変動の周期の変動解析など、応募者による新規のアイデアが詰まっており、また、応募者がアイスコア分析に関する豊富な経験と実績を有していることから、十分な研究成果が期待できる。特に、短い期間スケールでの急激な気候変動の解明は、将来の地球環境の予測にも貢献しうる。研究対象とする年代の古気候及び古環境の情報が連続的かつ高時間分解能で得られれば、地球の気候環境に関する理解が飛躍的に高まると期待されることから、本研究の学術的重要性・妥当性は極めて高い。</p>